

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

八重山地域のたけのこ生産について

12月9日(火)

令和7年12月9日(火)、八重山農林水産振興センター職員は、石垣島で昔からたけのこを生産している守岡氏の案内で、仲間のたけのこ生産者の竹林現場を視察させていただきました。

リョクチクとマチクでたけのこを生産していて、収穫時期に出てくるたけのこは自家消費が主であり、余剰分を加工・真空パック処理してファーマーズマーケットへ出荷しているとのこと。また、たけのこのみならず、マチクにいたっては葉もちまき(粽)に利用して出荷しているとのことであった。

ただ、パイナップルやサトウキビ、米といった農作物生産の傍らで竹林を手入れしている程度であるため、たけのこ生産に力を入れていくことは考えていない様子でもあった。

守岡氏からは、八重山地域ではたけのこを食する文化があまりなく、流通量も少なくて単価も安いとの意見があることから、生産・管理方法だけでなく、出荷先の開拓や活用料理の普及など、たけのこの生産量・消費量ともに増えるような普及活動に今後も取り組んでいきたい。



(報告者：八重山農林水産振興センター 比嘉、井口、砂川)